



16日(土)17日(日) 串高生が地域貢献！ 第5回沖縄物産フェア



ホテルアクシア串木野で開催された沖縄物産フェアの運営に、串高生27人が補助員として参加し、受付案内や様々なブースでの接客等に当たりました。日頃はなかなか経験することがないような仕事でしたが、明るい表情で元気に取り組んでいたのが印象的でした！

また、ステージでは吹奏楽部が演奏披露。フェアの趣旨に合わせて、沖縄の三線(さんしん)奏者とのセッションもありました。三線奏者とはほぼ「ぶっつけ本番」だったようですが、しっかりと聴かせてくれました！

主催者の話によると、今回のフェアの収益は、焼失した首里城復興基金にも当てられるとのこと。それに、串高生の活動が一役買っているのです！また、多くの方々が串高生に対してかけてくださった「ありがとね」の一言が、大きな励みとなりました。校長の私も、多くの方々と交流する中で、様々な方面でのつながりを実感した有意義な2日間となりました。



今週は「いじめを考える週間」でした。

今回の企画では、毎日、朝活用の時間を使って、生徒が簡単に読める800字程度のエッセイを用意しました。「いじめられている君へ」、「いじめている君へ」、「いじめを見ている君へ」と、毎回それぞれの視点で綴られた内容です。中にはタレントの中川翔子さん、お笑い芸人の長州小力さんのエッセイも。生徒たちは読后感想文を記入しました。インプット、アウトプットを通して自分事、自分たち事として考えることができたのではないのでしょうか。

「いじめをなくすにはどうしたらいいでしょう？」という質問をよく受けます。それには、いつも「いじめという言葉がなくすことです」と答えています。「いじめ」などと言わずに、「恐喝」「脅迫」「暴行」という言葉を使えばいいんです。
(歌手・俳優 美輪明宏の言葉より)

美輪さんの言葉は過激でしょうか。大人の世界においては、美輪さんの言葉に不自然さはないと思うのですが……。高校生ともなれば、いつまでも「大きな子ども」として庇護される存在ではないということを理解し(させ)なければならないと思います。

お知らせ 県立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について(別紙) 教育の質を下げたためのものでなく、むしろ子供たちにより良い教育を持続的に提供していくためのものであります。そのためには、保護者・地域の皆様のご理解とご協力が欠かせません。今後とも、本校の教育活動へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

学校における働き方改革へのご理解とご協力をお願い

～「鹿児島県立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定しました～

教職員を取り巻く環境

学校における課題の複雑化・多様化

- いじめ・不登校対策
- 支援を必要とする子供への対応
- 多様な学習ニーズに応じた取組
- 教職員の長時間勤務 など



教職員一人一人が心身ともに健康で、その専門性を十分に発揮して質の高い教育活動を担っていただけるような環境整備が必要です。



学校における働き方改革に係る計画の策定

令和7年6月給特法等の改正（公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法第8条）を受けて、令和8年3月に

「鹿児島県立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定しました！

(詳しくは、こちらから→)



【計画の概要】

(令和8年度～11年度の4年間における)

- ・ 教職員の時間外在校等時間等に係る数値目標
- ・ 実施する業務量管理・健康確保措置の内容
- ・ 関連する取組、今後のフォローアップについて



働き方改革の取組例 ～ 今後、学校の働き方が変わります！～

- 学校行事や様々な教育活動について、それぞれの教育的価値を踏まえ、各学校で精選・統合を進めます。
- 勤務時間外の電話応対等について、自動音声機能等で対応している学校も増加しています。可能な限り勤務時間内のご連絡をお願いします。
- 全ての県立学校において8月中旬の5日間を学校閉庁日とします。
- その他、国の指針や県の計画で示された「学校又は教師の業務の3分類」を踏まえて、学校の業務を見直していきます。

引き続き保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いします